

平成 24 年度

「人権の花」運動実践報告



別府市立西小学校

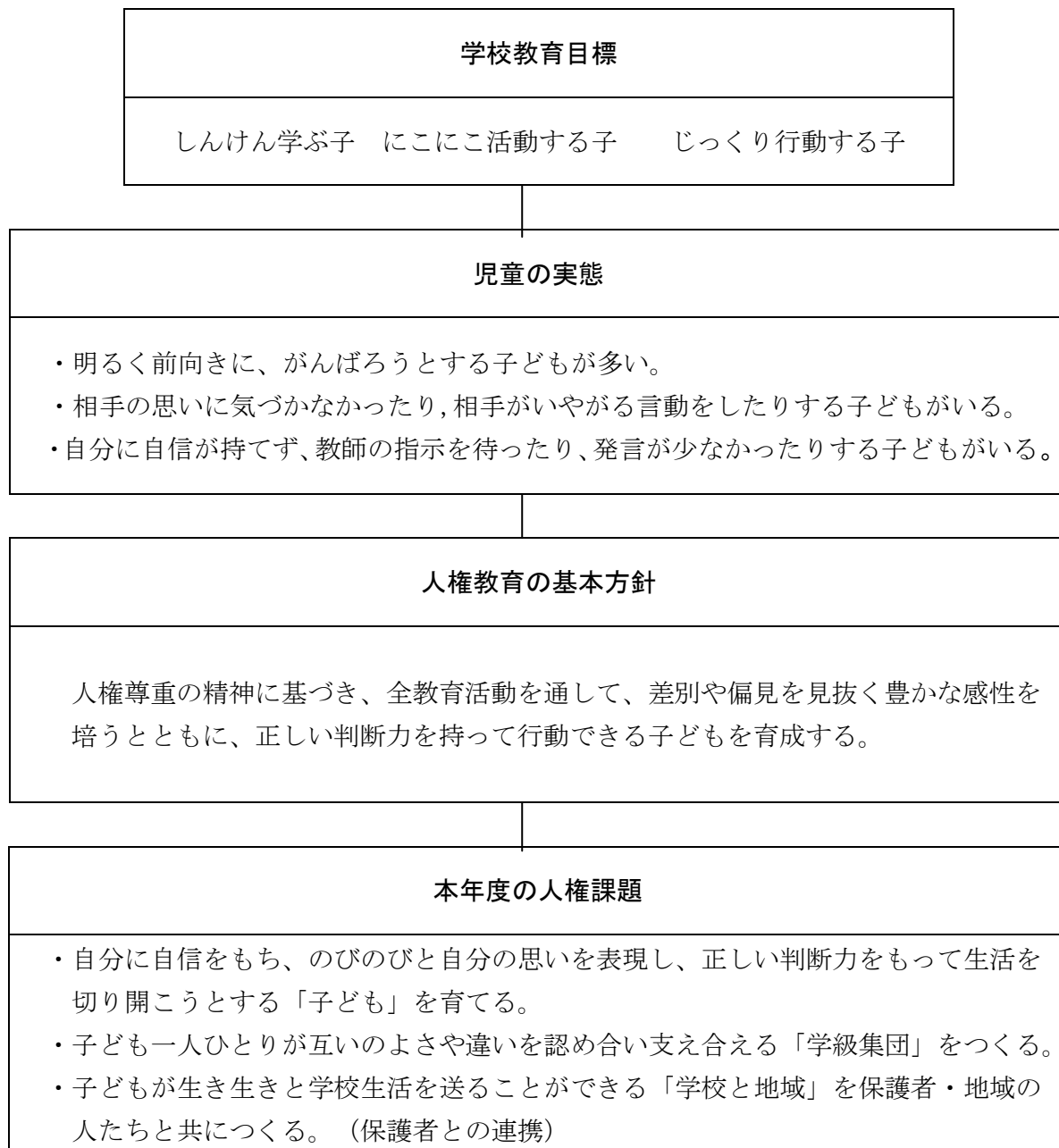
「人権の花」運動実践報告

別府市立西小学校

目 次

1. 人権教育の全体構想	1
2. 「人権の花」運動の目的	1
3. 「人権の花」運動でめざす子ども	1
4. 活動のスローガン	2
5. 年間活動計画	2
6. 活動の様子	
(1) 「人権の花」運動指定書交付式	3
(2) 第1回苗植え	5
(3) 人権の木に花をさかせよう	6
(4) 花のお世話	7
(5) 第2回苗植え	8
(6) あったかあどの交換	9
(7) 「人権の花」運動終了式	10
(8) 風船とばし	11
7. 子どもの感想	12
8. 種を拾ってくれた方より	13
9. 成果と課題	14

1. 人権教育全体構想



2. 「人権の花」運動の目的

子どもたちが花を栽培する活動を通して、相手の立場を考えることや、協力し合うこと、感謝することの大切さに気づき、思いやりの心を育むとともに、互いの人権を尊重することができる。

3. 「人権の花」運動でめざす子ども

命の大切さや、自分が大切な存在であることに気づくとともに、相手も同じように大切な存在であることを認め、互いの人権を尊重する行動ができる子ども。

4. 活動のスローガン

— しんけんに とりくもう 人権の花 —
 そだてよう 思いやりの心
 さかせよう にこにこの花

5. 年間活動計画

(1) 主な活動内容

- なかよし班ごとに、プランターに苗や種を植え、心をこめて世話をし、育てる。
- 観察や成長の記録を取るとともに、花の絵や作文等を作成する。
- 「人権の木」にやさしい行動の花を咲かせてく。

(2) 活動する学年

全校児童・園児

(3) 年間活動計画

月	活 動 内 容
5	「人権の花」運動打ち合わせ 「人権の花」運動実施計画およびスローガンづくり
6	「人権の花」運動指定書交付式 スローガンの発表 人権の話 第1回苗・種植え（マリーゴールド・インパチェンス・サルビア・ブルーサルビア ポータチュラカ・大雪山（ミニひまわり） 栽培（水やり等）・観察 「人権の木」に花を咲かせよう運動
7	「人権の花」の絵 栽培（水やり等）・観察 「人権の木」に花を咲かせよう運動
9	栽培（水やり等）・観察 「人権の木」に花を咲かせよう運動
10	種収穫 栽培（水やり等）・観察 「人権の木」に葉をつけよう運動
11	第2回苗・球根植え（ビオラ・パンジー・ノースポール・チューリップ） 栽培（水やり等）・観察 「人権の木」に葉をつけよう運動
12	人権集会 「人権の花」終了式（感謝状伝達式 風船イベント） 栽培（水やり等）・観察 「人権の木」に葉をつけよう運動
1	「人権の花」運動報告書（冊子）の作成 提出 栽培（水やり等）・観察 「人権の木」に実を实らせよう運動

6. 活動の様子

(1) 「人権の花」運動指定書交付式

6月6日 「人権の花」運動指定書交付式



西小学校は、「にこにこしんけん」を合言葉に活動に取り組んでいます。

なかでもなかよし班は、幼稚園から6年生までが一つの班をつくり活動しています。

この1年間、全校のみんなで花を育てながら、「人権」について “しんけん” 考えていきましょう。

指定書交付



スローガンの発表



～こばと委員（児童会）より～

みんなで花を育てていくことで、友だちを大切にする思いやりの心も育てましょう。
にこにこの花をたくさん咲かせて、花いっぱい・笑顔いっぱいの西小にしていきたいと思います。

人権擁護委員の宮崎さんが、「種をまこう」の詩をみんなに紹介してくださいました。

種をまこう

種をまこう 種をまこう
こころの中に種をまこう
わたしのこころ あなたのこころ
みんなのこころに 種をまこう
生まれたばかりのやわらかいこころに
「人権」という名の種をまこう
そして
「思いやり」という名の水と
「愛」という名の栄養を
たっぷりたっぷり そそいであげよう
みんなの「笑顔」という名の陽をあびて
きつと 芽が出る 花が咲く
やがて
大きな幸せの実が みる

人KENあゆみちゃん・人KENまもるくんの
マスコットをいただきました。



私は、「人けん」ということばを知らなかった
ので、最初は「人けんの花」ということばは、
ひびかなかったです。
でも、「たねをまこう」という詩を聞いて、
心にひびきました。なので、花を植える時
にいていねいに植えました。
「人けんの花」ってこんなに大切なんだ。

幼稚園児・全校児童で 人KENあゆみちゃん・人KENまもるくんと記念撮影をしました。



(2) 第1回苗植え

6月6日 第1回苗植え

「人権の花」運動指定書交付式の後、マリーゴールド・サルビア・ブルーサルビア・インパチェンス・ポーチュラカの苗を 人権擁護委員さん、地域の方、PTAの方と一緒に植えました。後日6年生が、種から育てた大雪山というひまわりの苗を植えました。なかよし班ごとに 水やり当番も決め、みんなで育てていくようにしました。



花を植えるとき、『育てね。他の花ともなかよくしてね。ほくも、友だちをいっぱい作るし、なかよくするから、おたがい友だちをいっぱいつくろう』と思いました。

金曜日に水をいっぱいあげるからね。

私は、人けんの花を植えるのを楽しみにしていました。

私はお母さんからよく「そんなやさしくない言葉をつかわんで」と言われます。だからこそ、人けんの花を植えてお友だちや、地いきの人たちや、知らない人たちにも、やさしい言葉を使っていきたいと思います。



～おうちの方より～

人権の花きれいに咲けばいいですね。まだ、早いのですが、秋に種をつけた風船を飛ばす子どもたちの笑顔を想像すると、秋がとても待ち遠しいです。そのためにも、きれいな花が咲くようがんばって育てるサポートをしたいと思っています。この思いは地域の方々も同じだと思います。何か手伝うことがあればいつでも言って下さい。

(3) 人権の木に花をさかせよう

人権の木の取り組み

友だちからかけてもらった「にこにこことば」(うれしくなる言葉)や、友だちからされてうれしくなったこと、がんばっていることを 1学期は花カード、2学期は葉カード、3学期は実カードに書いて人権の木に貼っていきました。



1年間でこんなにたくさんの花や葉、実が実りました。



(4) 花のお世話

花のお世話

各班ごとに めあてを決めて 水やり等のお世話をしていきました。



夏休みの前には、PTAの方が
ホースを使って自動水やり機を
つくってくれました。

11月6日 第2回 苗植え

パンジー・ビオラ・ノースポールの苗とチューリップの球根を植えました。



苗植えの前に 6年生が花の植え替えをしました。寒い中、一つひとつのプランターを冷たい水できれいに洗ってくれました。班長として、みんなのために働こうとする心が育っています。

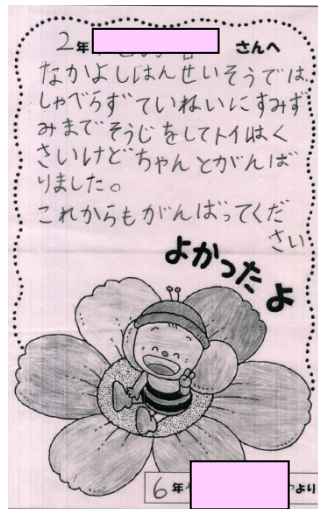
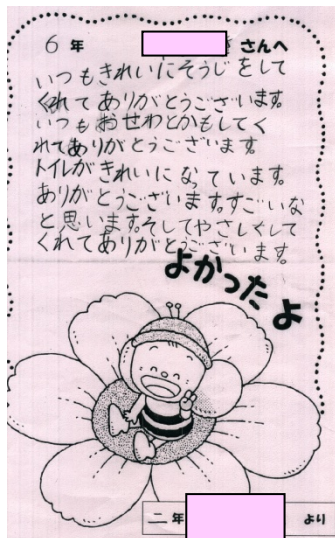


この花は、全校で参加する卒業式の時に「6年生 ありがとう」の思いをこめて会場にかざります。

12月7日

あったかあどの交換

なかよし班の お友だちのいいところを見つけて カードに書いて交換しました。



わたしのことよく
見ていてくれて
うれしいな。

ぼくに こんな
いいところが
あったんだあ！！



12月12日 「人権の花」運動終了式

こばと（児童会）が主体となって、人権の花運動で取り組んできたこと、考えたこと、学んだことを発表しました。

その後、この運動を通して自分が変わろうとしたとしたこと・変わったことを思い浮かべながら全校で「おそすぎないうちに」を歌いました。

感謝状交付



こばと取り組みの発表



私には、とっても大切な友だちがいます。
その友だちは、だれにでも優しくして自分のことを後回しにして、友だちのことを心配してくれます。私がつらい思いをしたときも助けてくれました。

私は、この人みたいになりたいです。
今度は、自分が反対に友だちを救ってあげたいです。

「人権の花」運動をしてみて、こんなふうな思いを育てることが目的なんだと思いました。

「人権の花」運動は終わるけど、変わりたいという自分の思いをもっと大きくして、みんなの心に笑顔の花をさかせていきたいです。

♪おそすぎないうちに

間に合う いまのうちに できるかぎりのことをしよう

— 1 0 —

うまれて こられた お礼に♪

みんなで育てた大雪山（ミニひまわり）の種と手紙をつけた風船を なかよし班ごとに飛ばしました。



昨年子どもが作ってくれた
人権標語を合言葉に飛ばしました。

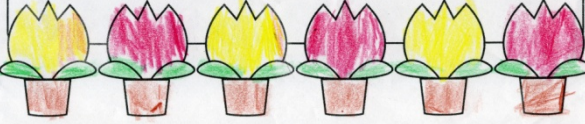


みんなの 思いをのせた風船は、空高く舞い上がり
あっという間に高崎山の向こうまで飛んでいきました。
たくさんの方に捨ててもらえるといいね。

【1年生】

人権の花がどうをふりかえて、
おもったこと・がんばったことをかきまわろう。

まどるくんとあゆみちゃんかきてく
れてうれしかったです。また人がた
らたすけるなりました。



ふうせんをひろってくれた方へ

学校で「人権の花運動」に取り組み
ました。全校でいろいろな花を育て、花い
っぱい笑顔いっぱいの学校になるように
大切に育てました。


ぼくは、この人権の花運動で変わったこ
とは人の気持ちをわかることができました。
いままでは人の気持ちがわからず
遊んでいるときも自分がやりたいくない
遊びはやらなかったけど、人
権の花運動で人の気持ちが
わかるようになりました。
これから、ひまわりの
種を大切に育てて
ください。



【6年生】

ふうせんをひろってくれた方へ

私たちは「人権の花」という
のを育てました。最初はすごく
不安で、(最後まで育てられるかなあ)
といったも思っていました。だけど全員
が協力し、助け合ったので、無事、
人権の花はきれいに咲きました。
みんなが、協力し、助け合
ったので、「心の花」も
咲いたんだなあと思
いました。



【4年生】

私は自分で好きかたに牛柳を言っていて、
のいけんを聞かずに自分が思っていることだけを、書いた人がいけんを言
てそれをうけあえずに、自分のいけんをつき通し(り)ていたけど、み
んなのいけんもきかないいけんというのに気が付いた。私は人と楽しく
やさしく、せ.ずることかできるよ.うになりました。自分からあいほうし
たり世の子でも、男の子でも、かみけいなく、やさしくすることかできるよ
うになり、心の中がス.キ(り)した。人をな.ても、信じられるよ.うに
な.って、なやみを相言.できるよ.うにな.って、心の中がス.キ(り)け.うな
気分になりました。これから、もっとやさしくなれるよ.うにしたいです。




【5年生】

ふうせんをひろってくれた方へ

じんけんの花を広げるために
ふうせんにとばしました。
ひろってくれた人は大切に育ててくだ
さい。私が学んだ事は、花にも人間と
同じで一つ一つのいのちが大切
だということです。

私が変わった事は、人の話を
(じ)聞(き)く事ができた事です。
これから私が変わった事は
考えてこうすることです。
じんけんの花を、
大切に育ててくだ
さい。



「風船を見つけましたよ！」たくさんの方から お電話やお手紙をいただきました。

由布市挾間町から、4件。大分市の平横瀬・賀来・木上・端登や野津原、そして遠くは臼杵市の野津町まで 風船が飛んで行ったようです。

全校のみんなに紹介すると、「そんなに遠くまで飛んでいったんだ!!」と驚くとともに風船がとりもつ “縁”を感じたようです。

【臼杵市 野津町から】

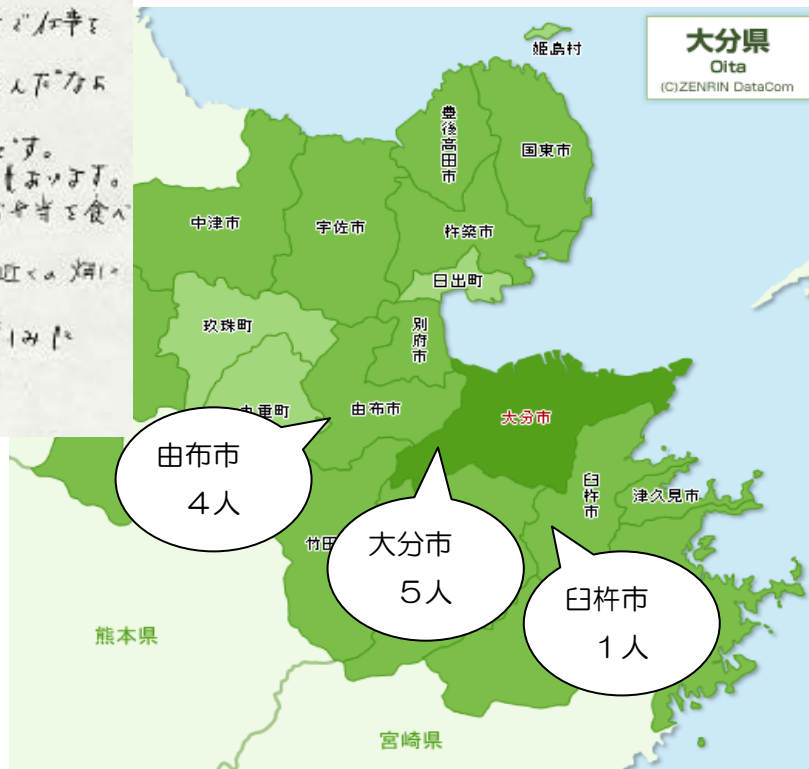
今日ば、私は○○○ちゃんのとばいた。キラキラクア
 こころ ちゃんり 敬ふうじんをみたりました。
 12月12日午後二時五分、庭に植えてある
 桜の木に、かがやきました。私はカオオです
 ちんちんとつがやまはか、お友だちとこ
 ちんちんとつがやまはか、お友だちとこ
 遠い別府から、臼杵市野津町まで
 とんで来たんだ、ふしぎなくらいです
 ふうふうの中には、いろいろな花が咲いて、
 ちんちんりの花が咲く頃、○○○ちゃん
 中学生ですわね
 私、ふうせんをちんちんりの箱をプレゼント
 されて、うれいんです。だんじにそだてるから
 みんなとね、よくして
 元気な中学生になってね

【大分市 木上から】

前略
 今日(一月五日)畑仕事をしていたところ、風船が
 とんできて、何かと見て見たところ、お手紙つき
 お花の種でした。私は79歳になるおばあちゃんです。
 ○○○さんのお手紙を読ませてもらう、心がほっこり
 しました。西小学校の6年生は、とてもいいことをして
 いますね。さうく庭のほうろくに人権の種を植
 えさせてもらいました。人が人として楽しく平和に生き
 られる世の中になるといいですね。○○○さんはもうすぐ
 中学生ですね。これからいろいろなことをがんばって下さい。かしこ

【大分市 野津原から】

私たちは、水道工事の仕事をしています、
 道路を掘って、水道の管を入れる仕事です。
 12月12日(土曜日)、大分市、野津原という場所の仕事を
 していたら、風船が現場に飛んできました。
 拾って中を手紙を見、すごい感激のあまり、
 感謝として、お手紙を返そうと思いました。
 今している現場は、風が強く、とても寒いところです。
 けれど、田んぼの畑が下で、さんありのどかか、とてもあたたかです。
 大分川、手を洗くと、気持ちいいので、毎日、おやきを食
 たら、少し散歩しています。
 ○○○君が私たちに、水戸花の種、現場、近くの畑に
 植えてもらうことになりました。
 春になったら、芽が出て、花が咲くと、私たちが楽しみ
 しています。
 ○○○君も楽しみはして下さいます。



<成果>

- 学校が花で包まれ、とても心がいやされた。
- 全校のみんなで花を育てるこの運動を通して、子どもたちが人権について考える機会が増え、子どもたちの人権への意識が育ったように感じた。
- なかよし班で協力しあう姿や、高学年が低学年をやさしく世話をする姿がみられた。
なかよし班での活動が増え、子どもたちどうしのつながりが 深まったような気がする。
- この運動を通して「自分を変えよう」「変わっていこう」と取り組んだ。子どもたちに書かせた1年間の成長には、“友だちとけんかしなくなった”“人の気持ちを考えられるようになった。”という言葉がよく見られた。なかには、自分勝手な行動に気づき、人との接し方を考えられるようになった子どももいた。
- 「人権の木」の日常的な取り組みで、少しずつ友だちを意識して、やさしくしようとする子が増えた。
- 些細な友だちのやさしさに気づく子が多くなった。
- 「あったかあど」の取り組みで、自分のいいところに気づくことができた。
また、他の子どもの思いを知って、自分を大切にしたり、周りの友だちを大切にしようとしたりするようになった。
- 風船を飛ばして、遠く離れた方ともつながれたことがうれしかったようだ。自分たちが育てた種がまた違う場所で花を咲かせることに 感動していた。
- PTAや地域の方、自治委員さんや民生委員さん、人権擁護委員さん、人権啓発課の方々とのふれあいが、子どもの意識向上に結びついた。

<課題>

- 全校で取り組む難しさを感じた。みんなが意識をひとつにして子どもたちに語り、活動させていかないとなかなか“人権”について深く考えさせることができない。
- 定期的に取り組みを振り返る時間などを設定すると、もっともっと子どもたちに意識の定着ができたと思うが、時間を取ることができなかった。
- せっかく芽生えてきた「人権」への意識をさらに育てていくためにも、今年だけで終わらず、来年度もこの運動を続けていきたい。どう続けていくか活動の見直しをしていく必要がある。